

注目トピック

農林中金アカデミーの機構改正について ～系統人材開発の役割発揮に向けた業務運営態勢の見直し～

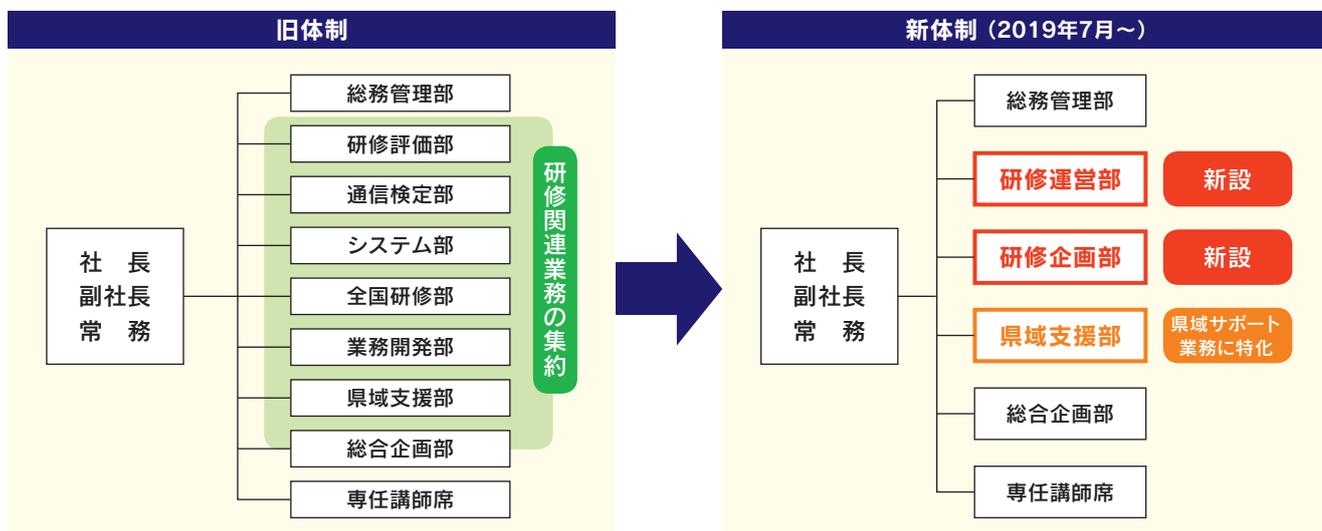
弊社は、2019年7月1日付で機構改正を実施しました。業務の集約・効率化を進める一方で、JAバンク中期戦略の実践に向けた研修コンテンツの充実、研修品質の向上や県域・JAの皆さまに対する人材育成のサポートを強化していきます。

具体的には、研修コンテンツの企画・開発を主に担う「研修企画部」と、研修の運営や講師派遣業務を主に担う「研修運営部」の2部署を新設します。

また、「県域支援部」は、県域・JAの人材開発ニーズを踏まえた具体的な提案などを行う、県域に対する個別サポート業務に特化する形に、担当業務の見直しを行いました。

県域・JAの人材育成において一層役割を発揮し、JAバンクの発展に少しでもお役に立てるよう、社員一丸となって努力してまいります。引き続きご愛顧の程、何卒よろしく願いいたします。

機構改正の概要



窓口・渉外
お役立ちコラム

弁護士 川西 拓人 講師

改正入管法と来日外国人顧客の管理

今回のコラムは、2019年4月1日から施行されている改正入管法と来日外国人顧客の管理について紹介します。

改正入管法では、これまでの専門的、技術的分野に限定した外国人の受入制度を緩和し、単純労働分野にも幅広く外国人労働者を受け入れるため、新たな在留資格を設けました。農業分野においては、2019年4月から5年間で3万6,500人を上限とする外国人労働者の受け入れが予定されています。

JAにおいても、これら外国人労働者に円滑な金融サービスを提供する必要がある一方、在留期間など、マネー・ローンダリング等の防止の観点から顧客管理に留意を要する点もあり、これらの点を整理して検討します。



本コラムの詳細は、当社ホームページをご覧ください。

アカデミーからのお知らせ

県域職員向け研修の募集開始!

現在募集中および7月に募集を開始する2019年9月開講の県域職員向け研修は以下の5講座です。ふるってご応募ください。

研修名
上級管理者コース
不動産担保評価
貯金窓口事例
管理者能力開発
融資事務担当者(法務)

2018年度(第43回・第44回)信用事業業務検定試験 最優秀成績者表彰式を実施しました!



最優秀成績者の皆さま。

優秀者の皆さんが全国から東京に集結

2018年度信用事業業務検定試験において、13,050名にのぼる受験者の頂点に立った43名が、去る5月24日(金)、東京・有楽町にある東京国際フォーラムにおいて表彰されました。

まず株式会社農林中金アカデミー五十嵐代表取締役社長から開会のあいさつがありました。

五十嵐社長あいさつ(要旨)

「JAバンク、JAマリンバンクが他業態に打ち勝って、地域の中で選ばれ信頼される金融機関であり続けるためには、このような知識、スキルの習得は欠くことができません。本日、最優秀賞を受賞

される皆さまにはぜひ一層ご自身のスキル、知識を磨き、職場のリーダーとしてさらにご活躍されることを期待します。」

表彰式では、名前を読み上げられた受賞者が、一人ひとり壇上に進み、五十嵐社長から賞状と副賞を受け取りました。

続いてJA長野県信連の上村淳さんが登壇し、受賞者代表挨拶を行いました。

上村淳さんあいさつ(要旨)

「この度幸運にもこのような好成績を残すことができうれしく思います。ただ、合格は決してゴールではありません。受験を通して学んだことを、これ



五十嵐社長が開会のあいさつを行いました。

受賞者は、五十嵐社長から賞状と副賞を受け取りました。



受賞者を代表してあいさつを行ったJA長野県信連の上村淳さん。



こんな意見が交わされました！
「意見交換会」で集まったそれぞれの声



テーマ 今後取り組む予定の自己啓発／自己啓発に取り組むにあたって、人材育成の仕組みなどについて期待すること

- 仕事内容に即した研修を積極的に受けていきたい
- 若い職員に必要な知識は何かを伝えられるよう、自らが試験に積極的にチャレンジしていきたい
- 銀行業務やFPなどの資格を取得し、組合員や利用者の力になりたい
- (自己啓発のためには) 資格取得の奨励や動機づけのための施策が必要
- やらされる学習ではなく、自発的に取り組めるような体制を作りたい
- 研修会などに参加しやすい環境づくりが必要
- 自店舗の弱点を克服するような研修を実施したい
- 少人数の研修をしてロールプレイングや意見交換をしたい

からの日々の業務に活用していくことが今後ますます重要になっていくと思います。」

夕方からは交流会が開催され、盛りだくさんの表彰式の全行程は終了となりました。

活発な意見を交わし、交流を深めた

そして毎年恒例となった意見交換会で設定されたテーマは「今後取り組む予定の自己啓発」「自己啓発に取り組むにあたって、人材育成の仕組みなどについて期待すること」の2つ。受賞者たちが5～6人のグループに分かれ、それぞれのテーマについて活発な意見を交わし合い、最後にグループごとに取りまとめた意見を発表しました。



表彰式会場に近いフレンチレストランの名店で行われた交流会では、全国から集まった受賞者が交流を深めました。

INTERVIEW

最優秀賞受賞者の皆さまの声

W受賞 渉外基礎／不祥事防止マネジメント

JAたのふじ(群馬県) 酒井 誠さん

受賞を通して少しでも私が所属するJAの名前を知っていただけたならうれしいです。また本日は意見交換会で全国各地の方と話ができるのを楽しみにしてきました。研修担当部署の管理者として何でも受験するつもりですし、その姿勢を見てもらえたらと思います。



W受賞 ローン推進／信用事業管理者

JA福岡市(福岡県) 山本 敦士さん

新任のローンマネージャー、また管理者として、周囲の手本にならなければと思い両種目を受験しました。部下の指導、考課など、内容が日々の業務とマッチしていて、自然に学習することができました。今回学んだことを業務でも大いに活かしていきたいです。



農業融資財務分析基礎

JA庄原(広島県) 岡田 孝道さん

通信講座のテキストをしっかりと学習し、受験に備えました。業務に結びついた内容なので、受験対策すればするほどより迅速にお客さま対応ができるようになり、自信につながりました。今後も学んだ知識を維持していきたいですね。



不祥事防止マネジメント

JA長野県信連(長野県) 上村 淳さん

新設科目で過去問がなかったため、アカデミーが出してくださった予想問題を使って学習しました。私の場合、現在の担当業務と直接結びつきはありませんが、内部統制は組織にとって重要ですし、学んで無駄になることはひとつもないと思っています。

